

科目名		単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
王朝物語研究 I		2	全日制・普通科・第3年次	『源氏物語読本』(筑摩書房)				
科目の目標		1 王朝物語文学の傑作と言われる『源氏物語』を読み味わうことによって、古典を読む力を養う。 2 『源氏物語』を生み出した社会の高度な文化的蓄積や伝統について理解する。 3 『源氏物語』についての理解や関心を深めることによって、古典に親しみ人生を豊かにする態度を育てる。						
時期 月 週	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 <単元の評価規準>	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月 ~6月	『源氏物語』概論	B読むこと	20	① 知識・技能 『源氏物語』を読むことを通して、我が国の文化の特質などについて理解を深めている。(2)ア ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している (A(1)エ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』に興味を持ち、作品の内容や背景、文章の特色について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 発表資料の分析・行動の観察	○『源氏物語』の表現上の特色について考え、優れた表現に親しむ。 ○作品に描かれた人間・社会・自然等に対する思想や感情について考える。	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)	『源氏物語』(紫式部)
7月 ~10月	文法・和歌・敬語等表現技法について	B読むこと	22	① 知識・技能 古典の読むために必要な文語の決まりや訓読の決まりについて理解を深めている。(2)イ ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している (A(1)ウ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 『源氏物語』を読み解き、作品の展開や叙述を理解するために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認・点検(ノート・小テスト) 発表資料の分析・行動の観察	○古典に用いられている語句の意味・用法等についての理解を深め、自分の力で『源氏物語』を読み味わえるようにする。 ○作品に描かれた人間関係や背景についてまとめて発表する。 ○同時代の他の作品と比較し、歴史的背景等も踏まえながらまとめ発表する。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	○『源氏物語』を読み解きながら、表現上の特色や表現について調べてまとめる。 ○作品に描かれた人間関係や背景についてまとめて発表する。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部)
11月 ~1月	『源氏物語』総論・総括	B読むこと	28	① 知識・技能 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している (2)イ ② 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) ③ 主体的に学習に取り組む態度 今まで学習したことを生かし『源氏物語』を読み解くことを通して、王朝物語について理解を深めるために粘り強く取り組み、自らの学習を調整しようとしている	発表資料・ノートの確認・点検 発表資料の分析・行動の観察	○『源氏物語』から1帖選び、登場人物の関係性や時代背景等を踏まえて通読し、内容について理解を深める。 ○同時代の他の作品との比較を通し、王朝物語について理解を深める。	○『源氏物語』から1帖選び、その内容や登場人物の関係性、背景等をまとめて発表する。 ○同時代の他の作品と比較し、歴史的背景等も踏まえながらまとめ発表する。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)オ)	『源氏物語』(紫式部) 地歴公民科 文学史・歴史的背景の理解をもとに内容読解を深める。
領域ごとの指導時間数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		0					
	読むこと		70					
指導時間数の合計			70					